

事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 <small>(課長補佐兼県営ほ場整備係長)</small> 関根 茂雄)	内線	4003 (4014)
------	---------------------	---------------------	---	----	----------------

事業種目	農業用排水	事業名	事業区間	総事業費	約2億円
		経営体育成基盤整備事業	栗住野地区	内地補償費	0.01億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
氷上郡青垣町栗住野				H17	H17
事業目的			事業内容		
区画整理実施済地区において、農作業における水管理の省力化を促進するため用水路のパイプライン化や排水路のライニングを行い、併せて暗渠排水の整備を行うことで、農産物の増収を図り、担い手農家の育成と農地集積を促進し、農業経営の安定化を図る。			受益面積 26.3ha ・用水路工 L=4.2km ・排水路工 L=2.4km ・暗渠排水 A=9.0ha (国50% 県27.5% 町10% 地元12.5%)		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	ほ場整備(S46～S49団体営栗住野地区)完了後、30年以上が経過し、用排水施設の老朽化に伴う水管理が多大な労働力の負担となっている。一方、新たな担い手(特定農業団体)による地域全体の安定的農業経営を行いたいとの動きが出ている。このため、受益者及び町の強い要望を受け、用水のパイプライン化や排水路のライニング化による水管理作業の省力化及び暗渠排水の整備による農地の乾田化を図るとともに、既存の担い手(認定農業者)の規模拡大と新規担い手の育成を推進し、地域全体の農業経営の安定化を図る必要がある。				
(2)有効性・効率性	投資効率1.08、所得償還率13.5%であり事業としての効果が十分に期待できる。 同意率100%(71戸/71戸)				
(3)環境適合性	パイプラインの埋戻材は再生砕石を用いる。 排水路のライニングは、一部区間に魚巣ブロックを設置し、水棲生物の生息環境の保全に配慮する。				
(4)優先性	用排水路が耐用年数を経過しており、ポンプの修繕等の補修・管理に苦慮しているため、早急に整備する必要がある。 北近畿豊岡自動車道(春日・和田山区間)により分断される地域営農に対し、本事業をきっかけに特定農業団体による新たな農業経営に対する意欲を支援する必要がある。				